

自然触れ合い 想像力を育む

綾

幼保小中教育考える講演

綾町幼保小中教育講演会
(町教委主催)は26日、同
町文化ホールであった。宮
崎国際大の坂倉真衣教授が

「子どもの『科学の芽』を
伸ばすには」と題して講
演。町内の教育関係者ら約
70人が、自然豊かな綾全体



幼少期の自然体験の重要性
などについて講演する宮崎
国際大の坂倉真衣教授

をフィールドとした子ども
の学びについて考えた。

坂倉教授は、子どもたちは
学校や自宅といった心の
よりどころを軸に地域と
の関わりを広げていくこと
を紹介。そこでの経験や思
い出が心の「原風景」とし
て、個人の考え方などに
影響を及ぼしていくとし
た。

また、幼少期は遊びを通
じ、周りの物や人と相互作
用し合う関係を築くことで
好奇心が生まれると指摘。

「五感を使って自然と触れ
合うことが、豊かな想像力
や創造性を育んでいく」な
どと述べた。

綾小合唱部によるコンサ
ートなどもあった。

(野崎亮)

県央

題字・酒匂 杏沙美さん
(加納中3年)